

地区社協 & トモニー



地区社協と共に

平成 19 年 10 月発行 《賞見期限：3 ヶ月》

Vol.02

“地区社協&トモニー”は、地区社協へ向けて区社協が発信する、不定期のトピックス！
トモニーの名前の由来のように、『共に』歩み、『共に』福祉を進めて行きたいと願って。

編集：南区社協 TEL260-2510

地域のオアシスつくりませんか！

サロン立上げ塾開催される

より身近な地域の中で、つどえる場やつどいの機会をつくるために、9月～10月にかけて、南区役所と南区社協が共催して、サロン立上げ塾（全3回）が開催されました。サロンをこれからつくりたい！にぎわうサロンを運営するにはどうしたらよいのか！参加者の様々な疑問に答えるべく、講師の牧岡英夫先生が熱弁をふるった3日間となりました。今回は立上げ塾の様態を皆様にお伝えいたします。

1日目（9/5）サロンスタッフの集め方・場所探し・運営資金編

先生の活動経験に興味津々



サロンができると、そこで参加者と支援者の共同活動により出会いがあり、人々の居場所が出来るんです！

熱く語る牧岡先生

2日目（9/19）企画書を作ろう



各自で企画書を作成し、夢を語りました。

3日目（10/3）サロンのチラシをつくろう

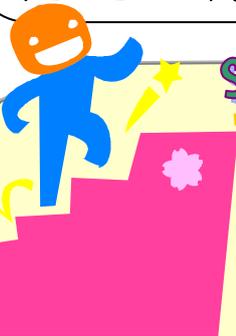


カラフルなチラシの完成！
先生直伝の楽しいサロン活動事例はとっても参考になりましたね！

サロンって何をするとこる？

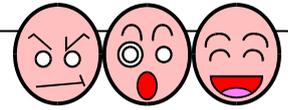
地域の誰もが気軽に集い、協働で企画し活動内容を決め、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げる活動をサロン活動と呼んでいます。開催場所は個人の家や、自治会等の集会所であったり、内容も、お茶を飲みながらのおしゃべりや楽しいレクリエーション等さまざまです。

★今後、区社協では地区社協エリアの中で活動しているサロン活動を支援すると共に、それらの活動を地区社協につなげていくよう支援をしていきたいと思っています。地域の中にあるサロン活動を知って一緒に地域づくりしませんか！



Step Up 地区計画!

9月27日の別所地区を皮切りに、地区計画推進「個別打合せ」が始まりました。5か年で進めているこの計画もスタートから早2年、折り返し地点を迎えました。
打合せは、計画の進み具合を確認し、今後の進め方をする、いわば「**計画の作戦会議**」です。参加者が知恵を出し合う熱い議論が、各地区で展開しています！



「ご近所に世話焼きさんいますか？」

去る9月21日に清水ヶ丘地域ケアプラザで、
支えあい連絡会研修会が開催されました。講師は、
木原孝久先生です。先生は30数年にわたり、
“住民流福祉”のあり方を研究し、実際に住民
と接しながら住民の支えあいマップ作りなどを
行っています。



70分の熱のこもったお話を凝縮して
“地域づくりのコツ”をここにご紹介します。

▶第1章 今、なぜご近所の助け合いか？

- ・ 阪神淡路震災で被災者を助け出したのは、75%が近隣住民でした。頼りになるのはご近所なのです。
- ・ 愛知県安城市では、福祉委員会による要援護者の“福祉マップ”づくりに取り組んでいます。実際に支援できるのは、ご近所と言われる約50世帯位の目の届く小さな範囲です。
- ・ 三重県四日市市では、空き巣が押し入りにくいご近所づくりのため、泥棒を招いて講演会を実施したそうです。

▶第2章 「ご近所福祉」をご近所の人たちで

- ・ 担い手の都合で福祉づくりは×。受け手の都合で福祉づくり。これを「住民流」と言います。
- ・ 地域の全員が助け合いに加わるのは△。3人くらいのネットワークで支えること。
- ・ 地区社協の役割は、世話焼きさんを見つけ出し、課題を拾ってあげるなど後方支援を行うこと。
- ・ また民生委員の役割は、その世話焼きさんの補佐。
- ・ 世話焼きさんとは、「気になる人が見えて」「人間が好きで」「あけっぴろげ」で何より「助けられ上手」な人。
- ・ ふれあいサロンの参加者が、相性の合う者同士で二次会を開くようになるとそのサロンは大成功！

▶第3章 福祉ニーズの解決法

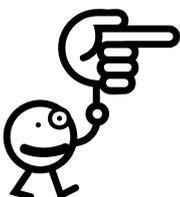
- ・ あなたは困った時、助けを求められますか？ →97%は助けを求められない人。
- ・ 一方、足元で困った人がいたら →70%は頼まれたら関わる人。助けを求めなければ福祉は始まらない。
- ・ そこで、「助けられ上手講座」の開催の提案。
- ・ 助けられっぱなしでは、嫌な人もいるので、担い手になってもらう工夫も必要。

▶終章 住民と共に歩むために

- ・ 介護保険サービスをだけでは当然足りない。その人らしく暮らせるよう支援が何層にもなるように「福祉のバームクーヘン」を作ろう！
- ・ 住民を集めるな！組織化するな！システムに組み込むな！隠れた支援を探せ！がご近所づくりの鉄則。

先生の力強いお話しを聞いて、ご近所づくりのコツが少し見えてきました。
現在の地区社協は、平均5,600世帯を対象にしています。もっと小さなご近所を対象に「世話焼きさん」を探し、見守り、支援していくことを考えたら、地域が見えてくるような気がします。「世話焼き」って地域福祉の真髄ではないでしょうか。

【参考：「ご近所パワーで安心安全のまちづくり」住民流福祉総合研究所 木原孝久】



お知らせ

市社協主催「地区社協研修」日程が決まりました！

例年、18区の地区社協が参加する「地区社協研修」につきまして、今年度は
平成20年2月27日(水)午後 関内ホールで開催されます。

内容の詳細など、別途ご案内いたしますが、とり急ぎ日程をお知らせします。